

令和4年度医療費分析結果 概要

医療・特定健診の実態からみる島田市(国保)の健康課題

数値から見られる実態

医療

—□■ 医療全体 ■□—

● 県全体と比較して受診率が高い

- ☛ 歯科入院及び歯科調剤の受診率の高水準が要因
- ☛ 重症化の指標とされる医療費単価である1件当たり医療費は県内35位/35市町、1日当たり医療費は31位/35市町と低いため重症化の傾向は低い

—□■ 疾病別 ■□—

● 医療費の上位5疾病中4疾病が生活習慣病

- ☛ 当該4疾病の医療費は全体の約25%を占める

● 腎機能疾患、がん、高血圧の医療費が高い

- ☛ 入院：がん、心臓疾患、精神、外来：腎不全、糖尿病、高血圧の医療費が高い
- ☛ 入院、外来：受診率が高い疾病の医療費が高い

—□■ 生活習慣病 ■□—

● 県全体と比較して、糖尿病、高血圧、脂質異常症の1人当たり医療費が高い

- ☛ いずれの疾病も受診率の高水準が要因

特定健診

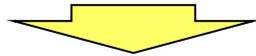
—□■ 受診率 ■□—

● 健診受診率、保健指導終了率とも県全体と比較して高い

—□■ 検査結果 ■□—

● 腎機能(HbA1c、eGFR)、脂質(LDL)の検査項目の該当者が県全体より高い

- ☛ いずれの項目も医療機関未受診者で重症度高レベルの該当者が増加傾向



健康課題

● 医療費の適正化には受診率の改善が必要

- ☛ 重複・頻回受診者の指導、健診結果等による疾病の早期治療の指導など

● 医療費の高い疾病の重症化予防対策が必要

- ☛ 糖尿病、高血圧は重症化により合併症を併発し医療費が急増するため重症化予防対策、生活習慣病の早期発見のための特定健診の受診
- ☛ 精神疾患は予防対策（他の健康保険との連携など）

● 保健指導では個別検査結果の程度に応じたきめ細かな指導が必要